

着任のあいさつ

福岡農業高等学校校長として着任いたしました平田 陽一です。

本年度で創立147年の歴史と伝統のある本校で校長を務めさせていただきますことは身に余る光栄であり、職務の重責さ強く感じています。

創立150周年に向け、教職員一丸となって教育活動に邁進する所存です。

本校の教育で目指す生徒像は、「耕」の校訓に示されています、『土を耕し、心を耕し、未来を耕す』という福農生が目指す3つ姿を目指す生徒です。

本校が目指す生徒像を具体的に示すと【笑顔で元気な挨拶が心を込めてできる生徒】です。

目指す生徒像に込める思いは以下の3つです。

○進路意識を高め、主体的に学ぶ生徒の育成【自らを律し、自身を鍛え続ける力】

○地域社会に貢献するグローバルな視点を持った生徒の育成【地域に貢献する力】

○課題解決能力の育成【友とともに学びあえる力】

この「3つの力」には、「みんなで協力してとことん頑張る」という思いを込めています。

私たちは筋書きのない予測不可能な社会を生きています。このような社会で生き抜くためには、いろいろな事態に遭遇した時に自分自身で適切に判断し行動できるようにならなければなりません。そのためにも毎日の授業に集中し、しっかりと知識や技術を身に付け、真に使える知識や技術となるまで「学び続ける」ことが必要です。

コロナ禍で人と人とが交流する機会が制限されるとともに、学校と地域社会の交流も制限され、生徒が地域で学ぶ機会が減っています。しかし、社会の第一線で活躍できる人材の輩出を重点教育に据える本校では、このような状況においても感染防止対策を工夫しながら地域の活性化に「貢献」できるよう大宰府市をはじめとする地域の方々とともに特色ある教育活動を推進していきます。

学校には、同級生という同じ年齢の人、先輩や後輩という異なった年齢の人、そして多くの先生がいっぱいいます。学校は多くの人間関係を学ぶことができる場でもあります。良き友、良き先輩・後輩を作ってください。人は人とのつながりの中で人になります。家族と、友達と、先生と、地域となど、つながりの中で、お互い学びあい支え合いながら、人として成長します。自分を大切にするとともに他の人の存在を認め、協力して生活できる「思いやり」ができる大人に成長してほしいと願っています。そのうえで、「思いやり」を伝える第1歩が『あいさつ』であり、丁寧な対応こそが心を込めることにつながると考えています。

結びになりますが、本校生徒のために御支援、御協力をいただいております保護者の皆様をはじめ、関係機関の方々にお礼を申し上げますとともに、今後も引き続き御支援賜りますようお願いし、着任の御挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

令和7年4月1日

福岡県立福岡農業高等学校 校長 平田 陽一